

2019年度 東海聖書神学塾 11月会計報告

東海聖書神学塾のために祈り、尊い献げものをもってお支え下さっている諸教会の皆様へ。憐れみ深い主の御名を崇めます。2019年も主の大きな憐れみの御手に運ばれてきました。いつも、神学塾の働きのためにとりなして下さい、尊い献げものをもってお支え下さり、心から感謝申し上げます。これからも神学塾の働きを覚えて、献金をよろしく願い申し上げます。

教会 団体 御芳名

8月～11月

インマズエル豊田キリスト教会、愛知泉キリスト教会、芥見キリスト教会、岩倉キリスト教会稲沢キリスト教会、笠松キリスト教会、海津キリスト教会、春日井福音自由教会、春日井福音キリスト教会、金山キリスト教会、可児キリスト教会、岐阜キリスト教会、栄聖書教会、志賀キリスト教会、自由ヶ丘キリスト教会、信愛キリスト教会、祖父江キリスト教会、知多のぞみキリスト教会、津豊ヶ丘キリスト教会、天白キリスト教会、同盟福音基督教会、同盟福音名古屋キリスト教会、名古屋西福音自由教会、名古屋猪子石キリスト教会、名古屋福音自由教会、虹ヶ丘聖書教会、羽島キリスト教会、久居聖書教会、松阪コミュニティ・チャーチ、パプテスト緑キリスト教会、守山一麦教会

個人献金 御芳名

8月～11月

赤坂泉、天木秀緑子、磯兼淳子、今泉真由美、岡村千恵、岡江保和、尾垣はまな、生越都、小畑光弘、河森研一、木倉麻美、金美羅、北野榮、小出祐子、小林孝雄、鈴木章、菅沼カオル、杉浦浩、武安宏樹、田中道子、筑間秀治、土屋みのり、野々垣晶子、早川恵三、廣田俊夫、山内とく子、山口友夢、山下実、山田順哉

I 収入の部

2019年11月23日現在

	摘要	2019年予算案	2019年11月收入	1-11月累計
1	前月分繰越金	578,581	1,058,960	578,581
2	教会・団体献金	2,300,000	121,000	1,905,969
3	個人献金	400,000	5,000	142,000
4	入塾卒業式献金	100,000	0	457,600
5	授業料指定献金	5,500,000	325,000	4,805,000
6	塾舎管理指定献金	400,000	0	300,000
7	公開講座献金	200,000	0	18,816
8	奨学金献金	100,000	0	0
9	CS教師研修会献金	250,000	0	93,587
10	入塾指定献金	300,000	0	10,000
11	運営・奨学金基金解約金	0	0	835,212
12	その他指定献金	100,000	0	74,000
13	雑収入	111,419	18,012	280,086
14	合計	10,340,000	1,527,972	9,500,851

II 支出の部

	摘要	2019年度予算案	2019年11月支出	1-11月累計
A	塾債返済積立	2,200,000	100,000	1,100,000
B	センター管理基金	360,000	30,000	330,000
C	維持管理費	200,000	13,296	207,032
D	通信費	230,000	13,418	116,909
E	事務費	500,000	15,114	491,284
F	講師関係費	4,300,000	0	2,873,750
G	図書費	300,000	4,540	159,316
H	実習研修(リトリート補助)	120,000	0	60,000
I	公開講座経費	80,000	0	30,000
J	運営基金積立金	300,000	0	700,000
K	教師研修費	150,000	0	224,088
L	奨学金基金積立	200,000	0	835,000
M	什器設備費	850,000	55,620	730,620
N	CS教師研修会経費	250,000	0	0
O	入塾事務広報費	50,000	0	0
P	予備費	100,000	620	10,620
Q	総務費/貸付利子	150,000	7,277	251,622
R	雑支出	0	0	92,523
U	合計	10,340,000	239,885	8,212,764
V	次月繰越金	578,581	1,288,087	1,288,087

会計奉仕者: 東賢作

(敬称略)

卒業生の歩み

同盟福音基督教会 東海キリスト教会
牧師 市川 昇
教職志願者コース 2005年卒業



塾での学びを通して私が一番学んだのは、塾生の皆さんとの仲間関係でした。週に2度神学塾に集まって来て、一緒に学ぶ仲間を得たのは、とても良かったです。私の時は入塾者が8人もいて、たくさんの人たちが入塾して共に学びました。それぞれ仕事の後で神学塾に集まって来ると、ここには、職場と違う、同じ主イエスを信じる仲間がいる。聖書のこと、イエス様のことをもっと知りたいという同じ心を持った仲間達がいる、私にとって、それはとても“あたたかい”安心感でした。私はいつもぎりぎりに塾に来ていたので、よく筆記用具を忘れていました。そんな私に、いつもあたたかく鉛筆を貸してくださった方は、やさしかったです。そのいつもの“あたたかい”日々は、主から与えられた恵みであり、あわれみでありました。塾の授業は、どれもとても面白くて、みんながみんな言っていたのは、「目からうろこが落ちるようだ」ということばです。先生たちは皆さん個性的で、授業の内容は魅力的でした。何よりも先生方が、生徒たちを愛して大切にしてくださっているのが分かりました。小さな宿題もたくさんでました。2つの十戒の違いや、12使徒の名前の違いなどは、調べていて面白かったです。そういう宿題は今では、内容はあまり思い出せませんが、それでも、確かにそういった事柄を学んだという事実は、私にとって自信になっています。また、クリスチャンになって、一つの教会、一つの教派で育つと、自分の信じている信仰がすべてだと思いがちですが、東海聖書神学塾は、福音派とはいえ、いろいろな教派から先生が来て教えてくださるので、ときどき自分が信じてきたこと、聞いてきたことと違うことを言う先生の言葉に驚き、怪しみ、チャレンジを受けました。それでも、そのような幅広い聖書の理解の中で、自分がこれまで信じてきたことが、どのあたりに位置するのかが分かってきて、自分の信仰のバランスがとれたのは、塾での学びでとてもよかった点です。そして、自分の周りにいる人たちが、自分と違う信じ方をしていることを、それはそれとして受け入れていく、主にある余裕のようなものも、この塾で学びました。ありがとうございました。

ピリピ 1章20節「私の願いは、どんな場合にも恥じることなく、今もいつものように大胆に語り、生きるにしても死ぬにしても、私の身によってキリストがあがめられることです。」



日本キリスト改革派 四日市教会
鈴木 章
信徒奉仕者コース 2005年卒業



私は2001年に51歳で入塾、2005年卒業いたしました。入塾するまでは、教会で聖書を学びたくても、どのように学ぶのがよくわかりませんでした。神学塾でそれぞれの教科を与えられ、順を追って、また同時並行で、聖書の学びができたことが私にとっては大切な学びの基礎となりました。定期的な学びの時が与えられたこと、また何事も聖書から、丁寧に教えていただきました。聖書に学ぶ先生方を拝見して、聖書を学ぶのではなく、聖書に学ぶ。そしてキリストに学ぶ姿勢を教えられました。卒業後は、朝の礼拝式でみことばを語る奉仕が与えられました。今までに、マルコ福音書、3つの手紙、十字架上の7つのみ言、キリスト教暦、山上の説教の箇所をさせて頂きました。一時期、四日市教会と桑名伝道所でもメッセージさせて頂きましたが、一つのメッセージの準備に2週間以上かかりました。信徒説教者としての限界を知り、辞任させて頂きましたが、現在は、長老として奨励をさせて頂いております。

また、私は元公務員で、年金事務所で保険の仕事をしていました。当時改革派教会の先生方は国民年金加入でしたので、厚生年金に加入されるように働きかけ、今では全国の改革派教会のほとんどが厚生年金に加入されています。

今後の教会については、高齢化となり、後任に引き継ぎたくても若い人がいないのです。信仰と奉仕の継承、共に深刻な状況です。地域社会に遣わされている人を送り出す神学塾の働きはとても大切です。地域社会に対して、キリスト者一人一人が礼拝を基礎に、為政者（司法も含め）に対して、祭司として執り成しの祈りをしつつ預言者として福音の宣教によって隣人に仕えていく時が来ています。礼拝こそが中心であり、祈りと宣教を通してキリストを証しし続けていくことで、一人でも多くの方が主に立ち返るよう、祈りと願いを持って主に仕えていくことが私たちに与えられた務めであり喜びであり、ヴィジョンではないでしょうか。み言に学び、キリストに学びつつ、今置かれている自分の持ち場で喜んで主に仕えて行きたいと願っています。マタイ11:29,30